

(様式4)

情報公開文書

課題名 : 80歳以上高齢者における大腸穿孔性腹膜炎手術の安全性の検討

研究期間: 臨床研究審査委員会承認日 ~ 2025年3月31日

研究開始予定日: 臨床研究審査委員会承認日~

1. 研究の対象

2011年4月~2023年11月に当院で大腸穿孔性腹膜炎の手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

大腸穿孔性腹膜炎は細菌感染症から容易に敗血症性ショックに至り、急激に重症化しやすく時に命を脅かすこともあります。本邦でも高齢化が進み80歳以上の高齢者の人口割合が増えており、手術療法を受ける高齢患者さんも増加してきています。一方で併存疾患を多く抱え、体力の低下した高齢患者さんにおいては79歳以下の中高齢患者さんと比較して手術の侵襲やその後の合併症は命に与える影響は大きく、大腸穿孔性腹膜炎の手術の安全性については統一した見解は定まっていません。今回の研究の目的は80歳以上の高齢患者さんの大腸穿孔性腹膜炎手術の安全性について検討を行い、その有効性について明らかにすることです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類 ※試料…血液、組織、細胞、体液、排せつ物などヒトの体の一部

対象となる患者さんの診療録(カルテ)から次の情報を調査します。

- ・患者背景(年齢、性別、併存疾患の有無等)
- ・臨床データ(手術時間、血液検査結果、血圧などの vital sign 等)
- ・転帰(合併症の有無、死亡の有無等)

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます。

6. 個人情報の取扱い

試料や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。試料や情報は、当院の研究責任者である川村崇文が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

浜松医療センター 消化器外科 川村 崇文(研究責任者)

住所: 静岡県浜松市中区富塚町 328

電話: 053-453-7111(病院代表)

2023年11月20日作成